

**製品名: TTF1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86443**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:39 kDa; Observed MW:42 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TTF1
別名	BCH; BHC; NK-2; TEBP; TTF1; NKX2A; NMTC1; T/EBP; TITF1; TTF-1; NKX2.1
遺伝子 ID	7080
SwissProt ID	P43699
免疫原	ヒト TTF1 の合成ペプチド

**背景**

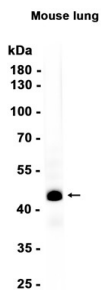
この遺伝子は、当初甲状腺特異的転写因子として同定されたタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質はチログ

ロブリンプロモーターに結合し、甲状腺特異的遺伝子の発現を制御するだけでなく、形態形成に関与する遺伝子の発現も制御することが示されています。この遺伝子の変異および欠失は、良性遺伝性舞蹈病、舞蹈アテトーゼ、先天性甲状腺機能低下症、新生児呼吸窮迫と関連しており、甲状腺がんとの関連も示唆されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。この遺伝子は、リボソーム遺伝子の転写に関与する別の遺伝子、転写終結因子 1 と「TTF1」という遺伝子名/別名を共有しています。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



TTF1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス肺組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。